

二級河川古座川

浸水履歴ハザードマップ

台風11号

災害発生日
平成13年8月21日

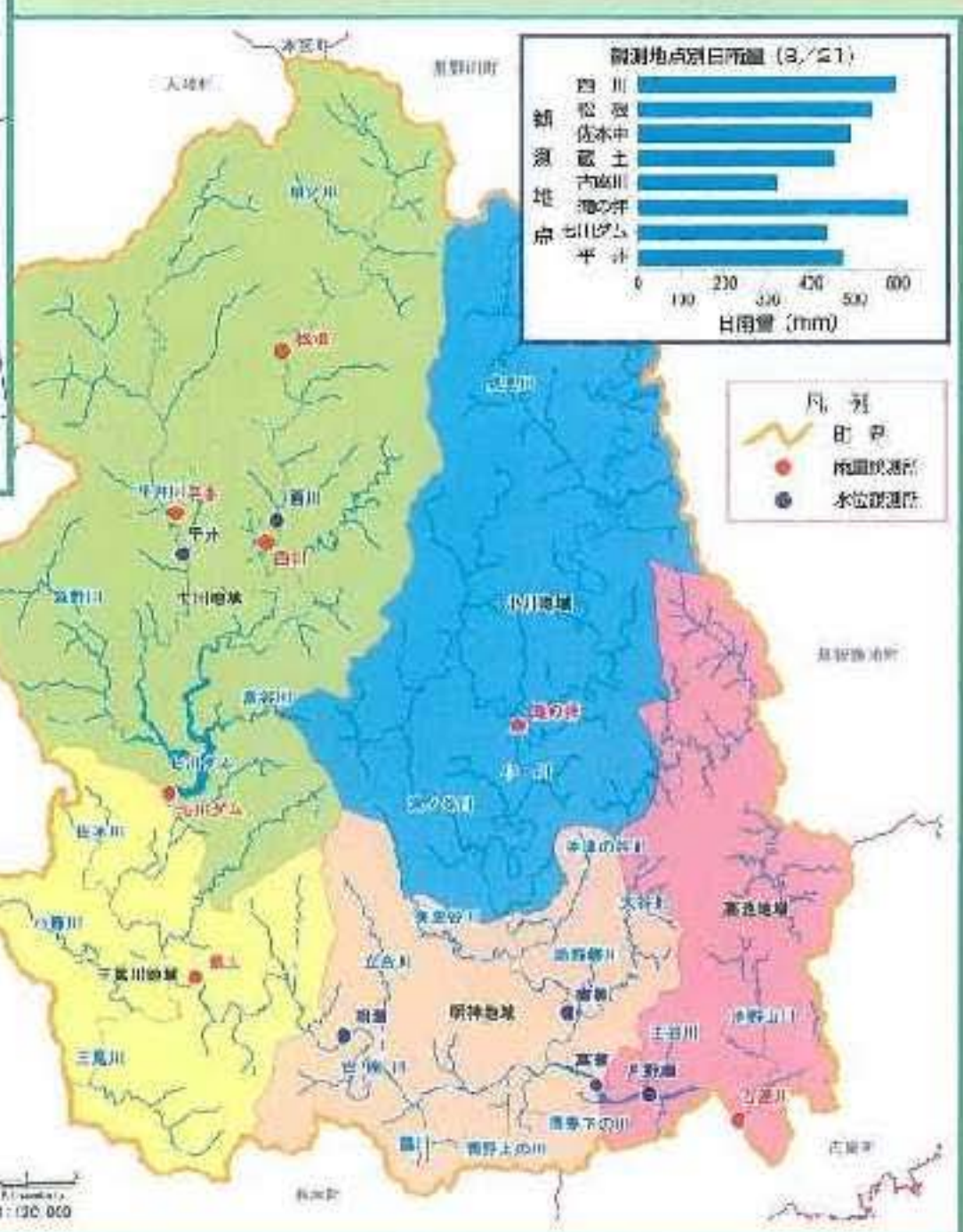
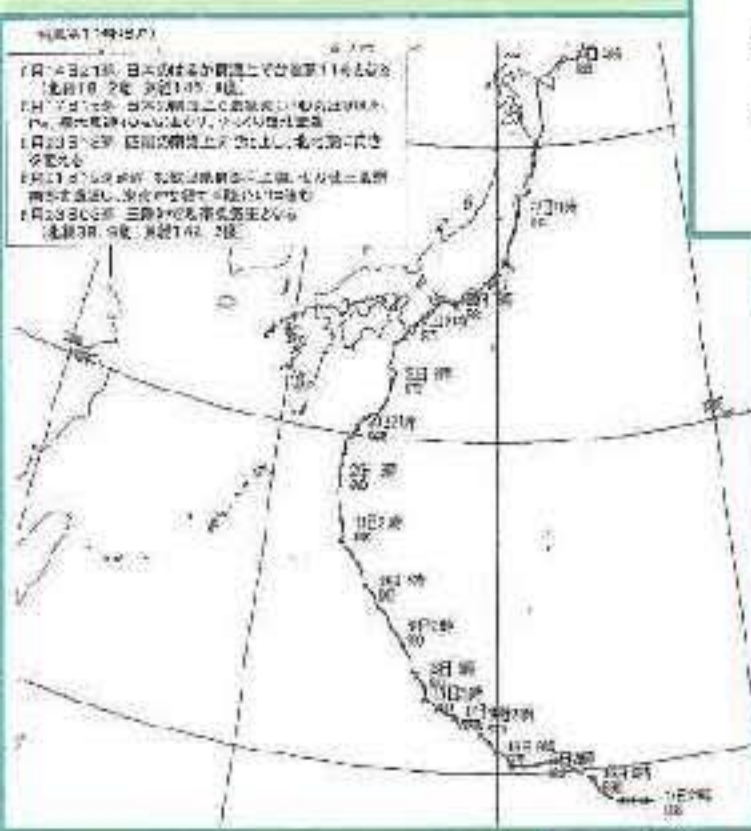
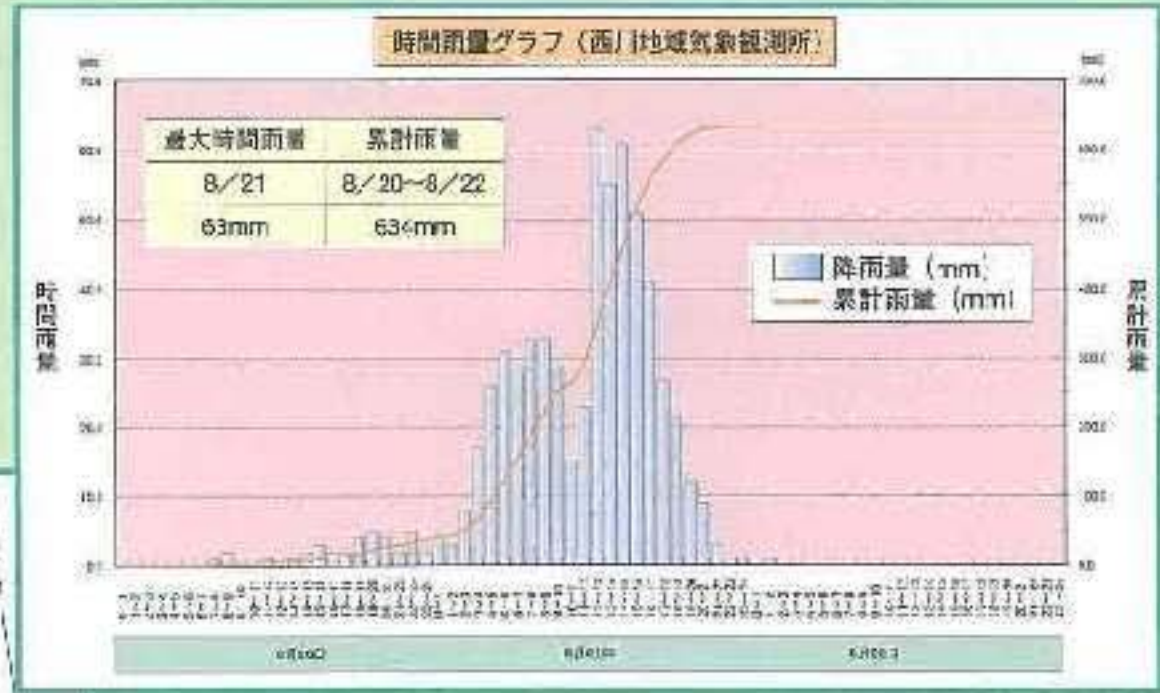
主な被災地
明神・高瀬・月野瀬地区ほか



古座川町

気象状況

8月21日午後7時過ぎに紀伊半島最南端の串本町付近に上陸。自転車のゆっくりとした速度で約半日をかけて紀伊半島を横断し、その間紀伊半島をはじめ四国や近畿、東海地方の各地に大雨を降らせた。とくに紀伊半島では21日の降水量が500mm~600mmを記録する大雨となり、那智勝浦町の色川で21日、観測史上最大の日降水量となる572mmを記録するなど各地で浸水被害が相次いだ。



観測所	観測者
西川地域気象観測所	和歌山地方気象台
古座川雨量観測所	東牟婁振興局串本建設部
佐本中雨量観測所	//
蔵土雨量観測所	//
平井雨量観測所	七川ダム管理事務所
松原雨量観測所	//
七川ダム雨量観測所	//
滝の坪雨量観測所	//

観測所	観測者
相瀬水位観測所	東牟婁振興局串本建設部
月野瀬水位観測所	//
西川水位観測所	七川ダム管理事務所
高瀬水位観測所	//
直見水位観測所	//
平井水位観測所	//

雨量観測所

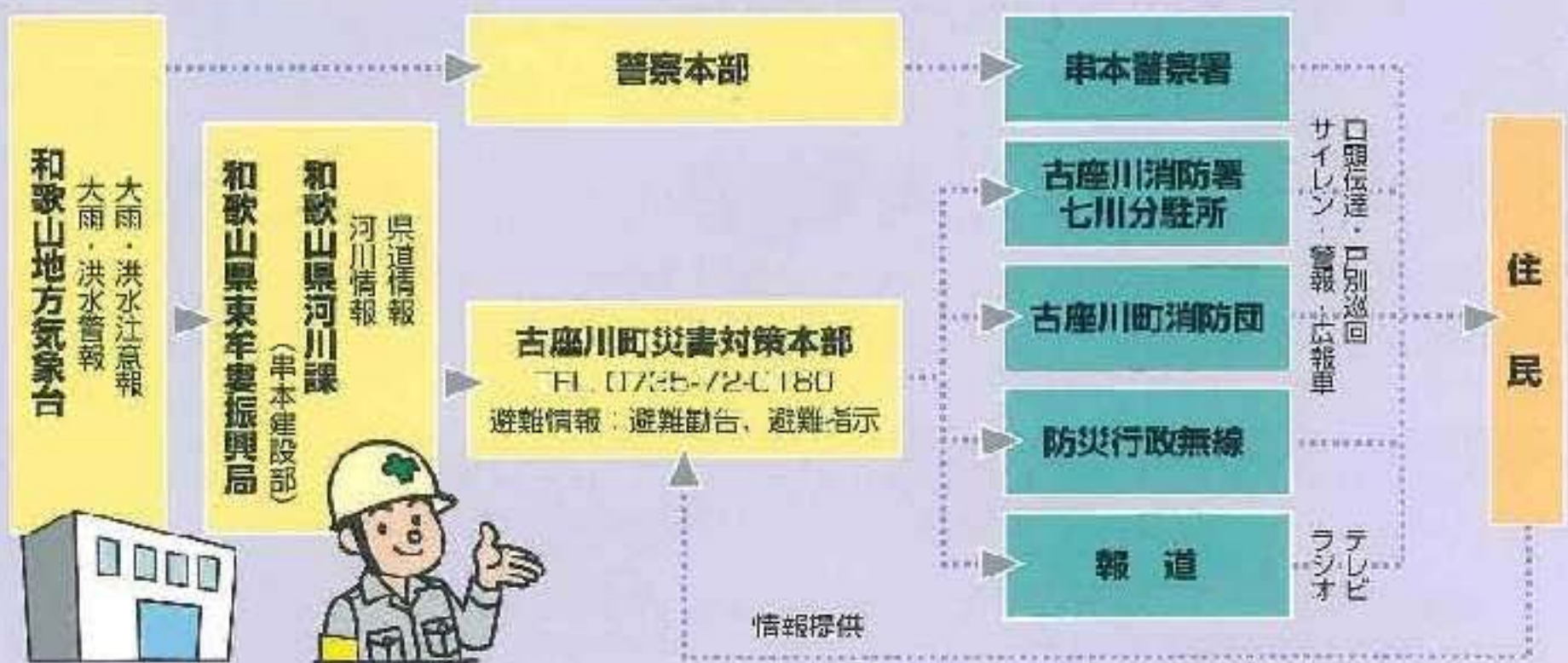
水位観測所

和歌山地方気象台から提供される情報

	大雨注意報	洪水注意報	大雨・洪水警報
こんなときに発表されます。	大雨による被害が予想され、次の条件のいずれかになると予想される場合。	洪水による被害が予想され、次の条件のいずれかになると予想される場合。	大雨や洪水による重大な災害が予想され、次の条件のいずれかになると予想される場合。
1時間雨量	平地 30mm以上ただし、総雨量が70mm以上の場合 山地 40mm以上ただし、総雨量が150mm以上の場合	南部の平地 40mm以上ただし、総雨量が70mm以上の場合 山地 40mm以上ただし、総雨量が150mm以上の場合	平地 60mm以上ただし、総雨量が150mm以上の場合 山地 80mm以上ただし、総雨量が250mm以上の場合
3時間雨量	平地 60mm以上 山地 80mm以上	南部の平地 80mm以上 山地 80mm以上	平地 100mm以上 山地 150mm以上
24時間雨量	平地 100mm以上 山地 200mm以上	南部の平地 150mm以上 山地 250mm以上	平地 200mm以上 山地 400mm以上

※総雨量：降り始めから降り終わるまでの累加雨量

洪水情報の流れ



町から提供される情報

洪水時には、状況に応じて町から避難勧告、避難指示が出されます。これらの情報に従って、速やかに避難の行動を開始してください。

◆避難勧告

避難勧告は、命令ではありませんが、生命・身体を災害から守ると同時に災害の拡大を防ぐため、とくに必要があると認められる地域にお住まいの方に、避難のための立ち退きを勧めるものです。



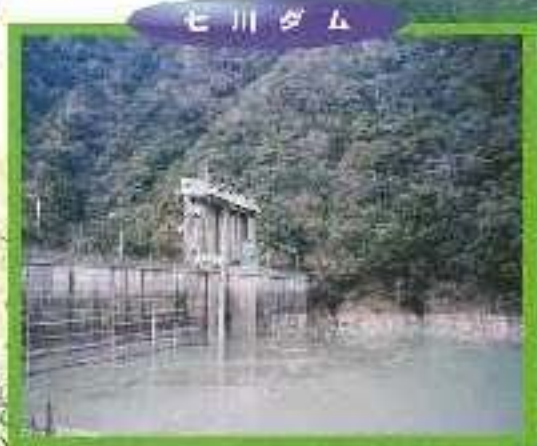
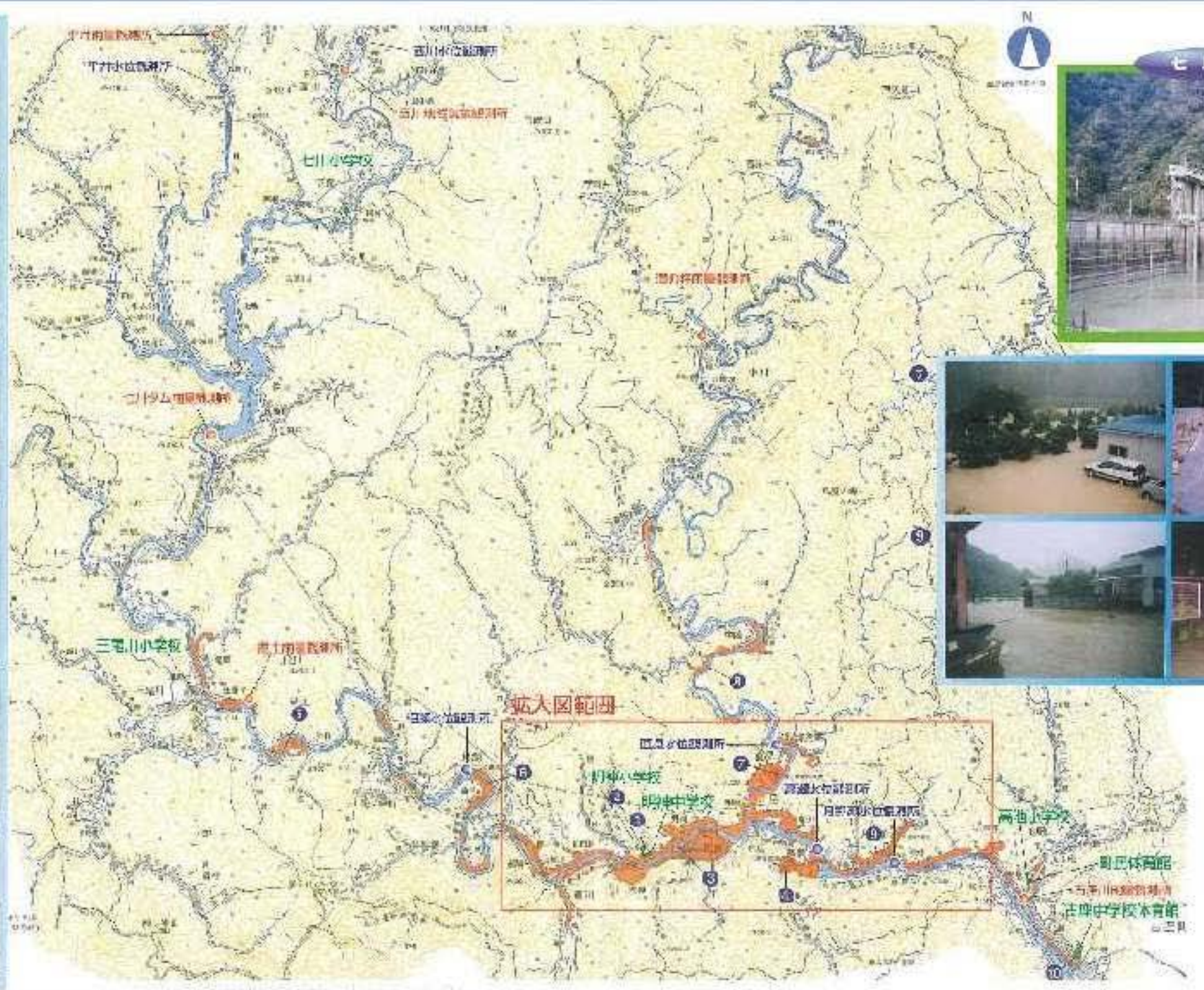
◆避難指示

避難指示は、川から水があふれたり堤防が壊れたりするような洪水の危険が目前に迫っているときにされます。



流域の被災状況

8月11日の記録的な集中豪雨により、古座川では危険水位（警戒水位）を越え、水位が堤防高に達し氾濫、氾濫した。この氾濫は、古座川からの越水及び堤内地での内水氾濫により、町内地区をはじめとする中下流域を中心に発生し、山崩れの水砂土に加え、主要道路の浸水により広い範囲に深刻な被害を与えた。浸水被害は、床上浸水の戸、床下浸水戸がもたらした。道路では陥没溝で瓦土や路肩崩壊があり、古座川に流れる長さ200mの吊り橋（下流土橋）が流出するなど大被害となった。



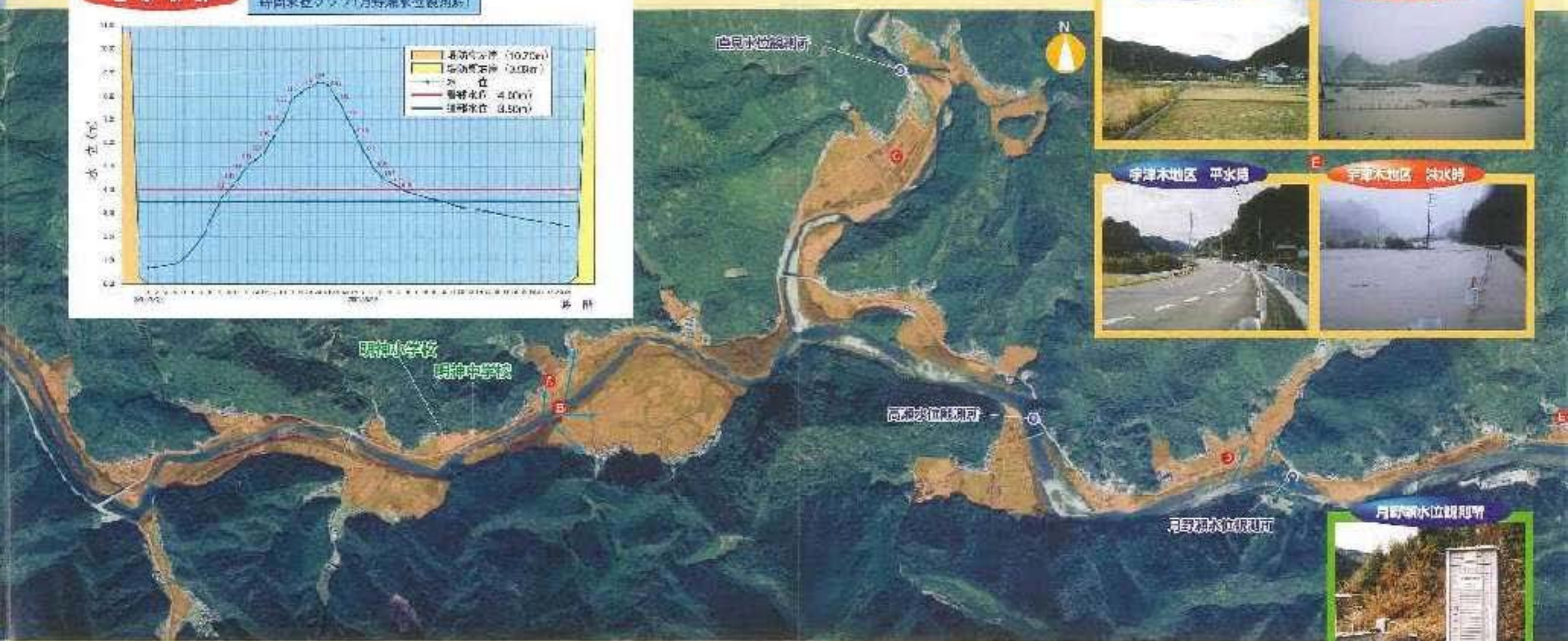
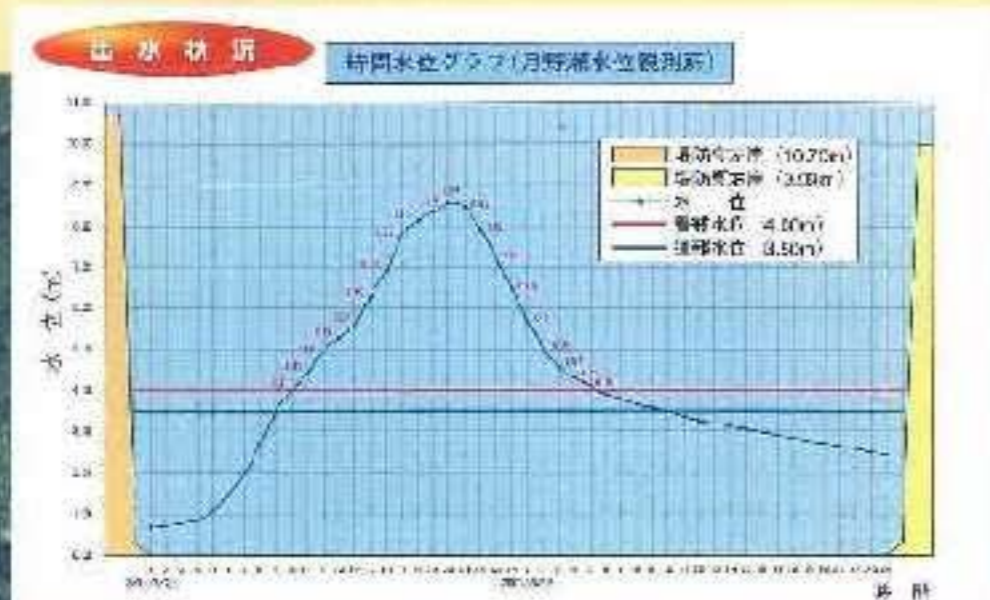
縮尺：1:57,000
 河川図は、古座川川筋本図図5万9千分の1を縮小したものである。
 雨量図は、古座川川筋本図図5万9千分の1を縮小したものである。

- 凡例
- 水位観測所
 - 雨量観測所
 - 避難場所
 - 越水箇所
 - 浸水区域



拡大範囲の被災状況

古串川に沿って走る国道(すまみ古串線)が冠水し、家々の被害も相次いで、川内でも多くで民家が倒壊した。このため、21日午後6時、村内全戸約1,600世帯3,700人に避難指示が出され、約200人が避難した。高瀬地区では2人の住民が取り残され、午後10時頃までに消防署・消防団がゴムボートで住民全員を救出した。最も被害が大きかった高瀬地区では、床上浸水した家は老女が埋り込まれ、消防団員などが救助に向かい救出した。また、床上浸水した家の中で一存を遂げたという人も、押し入れの布団の下で水が引くのを待ったという話を暮らしの先輩から聞いた。



※観測所は、東海地方気象台の観測所です。観測期間：15分間隔で水位を測定したものです。
 ※浸水区域は、台風1号(平成13年8月7日)によるものとあり、凡そ取り囲まれている箇所によるものである。



避難場所一覧

避難対象地区	避難場所	電話番号	収容人員(人)
高池	古座中学校体育館	0735-72-0071	523
	高池小学校	0735-72-1556	1,072
	町民体育館	0735-72-3344	797
明神・一雨	明神小学校	0735-78-0347	586
	明神中学校	0735-78-0346	872
三尾川	三尾川小学校	0735-75-0008	586
七川	七川小学校	0735-77-0032	519

古座川町における風水害履歴 (昭和32年～平成13年)

発生年月日	種別	被害状況	備考
昭和32年9月11日	台風11号	水田被害 町道決壊 10箇所 林道決壊 12箇所 堤岸決壊 1箇所	最大時間雨量8/11 15.5mm 累計雨量8/10～9/12 126.5mm
昭和33年8月25日	台風17号	建物被害 456人 家屋全壊 5戸 流失 11戸 半壊 31戸 床上浸水 640戸 床下浸水 154戸 道路被害 750箇所 橋梁 296箇所	最大時間雨量8/25 30.9mm 累計雨量8/23～8/25 232.4mm
昭和34年8月9日	台風6号	床上浸水 3戸 床下浸水 10戸 道路決壊 33箇所 橋梁流失 4箇所	最大時間雨量8/9 32.3mm 累計雨量8/7～8/9 188.8mm
昭和36年10月7日	集中豪雨	池野山区床上浸水 50戸 錦川地区木家谷の土流決壊	最大時間雨量10/7 29.0mm 累計雨量10/5～10/7 183.2mm
昭和36年9月16日	台風10号	家屋全壊 11戸 家屋半壊 15戸 学校被害額 3,327千円 橋梁被害 7箇所	最大時間雨量9/16 14.6mm 累計雨量9/14～9/16 59.7mm
昭和37年7月27日	台風7号	死者 4名 被害総額 1億1,647万2千円 災害救助法適用	最大時間雨量7/27 47.2mm 累計雨量7/26～7/28 232.8mm
平成2年9月19日	台風19号	家屋半壊 4戸 家屋一部破損 134戸 道路被害 20箇所 66,200千円 河川被害 6箇所 31,700千円 林道被害 7箇所 45,000千円	最大時間雨量9/19 49.0mm 累計雨量9/17～9/19 430.0mm
平成2年9月30日	台風20号	家屋半壊 1戸 家屋一部破損 19戸 道路被害 2箇所 10,000千円 林道被害 7箇所 112,500千円	最大時間雨量9/30 36.0mm 累計雨量9/29～9/30 227.0mm
平成10年9月23日	集中豪雨	家屋一部破損 2戸 床下浸水 3戸 道路被害 8箇所 林道被害 11箇所	最大時間雨量9/23 37.0mm 累計雨量9/22～9/24 574.0mm
平成13年8月21日	台風11号	床上浸水 70戸 床下浸水 81戸 道路被害 47,021千円 橋梁被害 1,504.8千円 林道被害 29,777千円 診療所施設設備 28,542千円 学校施設設備 12,835千円 社会体育施設 6,017千円	最大時間雨量8/21 53.0mm 累計雨量8/20～8/22 634.0mm
平成13年9月30日	集中豪雨	床下浸水 8戸 道路被害 3箇所 河川被害 3箇所 水道施設被害 2箇所	最大時間雨量9/30 71.0mm 累計雨量9/29～10/1 303.0mm



緊急の
お問い合わせ先は…

古座川町役場

古座川町高池673-2
TEL 0735-72-0180

古座川消防署

古座町古座1035
TEL 0735-72-0119

七川分駐所

古座川町佐田627
TEL 0735-76-0119

東牟婁振興局串本建設部

串本町串本2491
TEL 0735-62-0755

七川ダム管理事務所

古座川町佐田1010
TEL 0735-76-0009

串本警察署

串本町串本1799
TEL 0735-62-0110

出典：和歌山地方気象台「地域気象観測所時降水量(mm)日数」より
観測地点：潮伊湖観測所データ(昭和32年～昭和37年)、西川地域気象観測所データ(平成2年～平成13年)